

EC（エピルビシン・シクロホスファミド）療法


★今日の点滴のスケジュール

*点滴開始前にアプレピタント(商品名:イメンド)を服用して吐き気を予防します。

	薬の名前	点滴時間	薬の効果
1	デキサメタゾン (商品名:デカドロン) パロノセトロン (商品名:アロキシ)	15分	抗がん剤による吐き気・嘔吐を予防する目的で使用します。 4日程度効果が持続します。
2	エピルビシン (商品名:ファルモルビシン) _____mg	10分	がん細胞の増殖を抑えてくれる薬です。 ※赤い色をしているので、点滴当日は尿が赤くなることがあります。
3	シクロホスファミド (商品名:エンドキサン) _____mg	30~60分	がん細胞の増殖を抑えてくれる薬です。

*点滴終了後、針を刺している部分の炎症防止のため生食 50mL を点滴します。

★1クールスケジュール

薬の名前	1日目	2日目	~14日
エピルビシン	○	お休み	お休み
シクロホスファミド	○		
ペグフィルグラスチム (商品名:ジーラタ)	なし		

お休み期間について

14日間を1回の治療として繰り返し行います。症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

★点滴当日に注意していただきたいこと

- ・エピルビシンは血管の炎症を起こしやすく、血管痛が起きることがあります。抗がん剤の投与を受けた当日は、腕を温め、翌日は冷やすと良いと言われています。数日後にも赤く腫れたり、熱っぽく感じたりする場合があります。異常を感じたらお知らせください。
- ・点滴部位に異常な痛みを感じたり、点滴部位の周囲が腫れてきたり、かゆみや不快を感じたら早めに医療スタッフまでお知らせください。
(血管外に点滴が漏れている可能性があります。)
- ・点滴中に気分が悪くなったり、何か気になる症状が現れた場合には早めに医療スタッフまでお知らせください。



★予想される副作用

食欲不振・吐き気・嘔吐・味覚の変化

投与後から現れることがあります。症状と時期に合わせて、吐き気止めのお薬を使い、対応します。2～3日ほど続きますが、ほとんどの場合回復に向かいます。味覚の変化は点滴終了1週間後から出現します。

※吐き気止めの影響で便秘になることがあるので、必要に応じて下剤を使用して下さい。



白血球の減少(点滴終了2週間後の頃)・貧血・出血

白血球が減少する事があります。白血球が減少すると病原菌に対抗できず、感染症にかかりやすくなります。日々の手洗い・うがい・マスクなどの感染対策をしてください。また、抗がん剤が血液を作る細胞に作用するため、赤血球が減少し、貧血になったり、血小板が減少して出血しやすくなることもあります。



脱毛

個人差はありますが、脱毛が生じます。治療開始後2～3週間ほどで脱毛が始まる可能性があります。治療が終わると半年程度で元通り髪の毛が生えてきます。

心臓への影響

エピルビンには心臓に対する副作用があります。心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、体にむくみが出る場合があります。



残尿感・排尿痛・赤色尿(出血性膀胱炎の可能性がありますが)

投与後2～3日で出ると言われています。尿の回数が増えたり、尿に赤みが出る、尿が残った感じ、排尿痛が出る場合があります。十分に水を摂取するように心がけましょう。

口内炎、皮膚炎、手先の荒れ、間質性肺炎などの症状が現れる場合があります。

ご自宅で以下の症状が現れた場合は必ずご連絡ください。

- ・ 38 度以上の発熱があるとき
- ・ 1日の半分以上を寝たきりで過ごさなければならないほどのだるさがあるとき
- ・ 吐き気止めの内服をしても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- ・ 1日7回以上の下痢があるとき

上記以外でもご自宅でいつもと違うと感じた時には我慢することなく、以下の連絡先にご連絡ください。

電話：0476-22-1500（代表）



※ご連絡の際はお手元に診察券をご用意ください。